

Space Designer検定試験
Basic/Expert
認定校向けガイダンス
2024年度(保存版通年使用)



contents

1	ACSPとSpace Designer検定試験について	1
2	Space Designe検定試験の概要	2
3	認定校の新規申請	5
4	認定校での試験運営の流れ	8
5	認定校認定基準	9

1

ACSPとSpace Designer検定試験について



一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)について

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（以下、「ACSP」という。）は、2009年2月に設立された非営利法人です。

ACSPは、1990年の創設以来、受験応募者累計60万人を達成する「CAD利用技術者試験」を中心に、「3Dプリンター活用技術検定試験」「Space Designer検定試験」を主催・運営し、長年の主催試験の運用を通して培ったノウハウをベースに、新試験の創設ならびに試験主催者に対する支援事業を行い、広く技術系人材能力を開発・育成しています。

ACSP Webページ (<https://www.acsp.jp/>)



Space Designer検定試験制度について

本検定は、建築・インテリア・リフォーム・リノベーション業界に対応できる質の高い人材育成を目的とし、建築図面を理解でき、3次元CAD/BIMやCGソフト、プレゼンテーションソフトなどを利用して「リアルなCGインテリアパースと説得力のある提案書」を作成できる人材を「Space Designer」として位置づけ、評価・認定する試験制度です。働き方改革や人材不足が問題化している建築・インテリア業界において、新たな人材モデルとして、本検定合格者の活躍の場が広がりつつあります。今回試験制度全体を見直すとともに、あらたに「認定校受験」制度を設け、より幅広く「Space Designer」の育成に取り組んでまいります。

※試験問題は、日本インテリア学会が提唱する「インテリア製図通則」に準拠しています。

2

Space Designer検定試験の概要

➔ 主催団体

一般社団法人コンピュータ教育振興協会（ACSP）

➔ 試験名／資格

Space Designer検定試験 Expert（旧1級）

Space Designer検定試験 Standard（一般受験のみ、旧2級）

Space Designer検定試験 Basic（新設）

- 2022年度以前の1級合格者は「Space Designer Expert」として、2級合格者は「Space Designer Standard」として認定が継続されます。

➔ 受験資格

いずれの級にも制限はありません。ただし、Space Designer BasicはBasic認定校で学習された方のみが対象となります。

➔ 受験区分

認定校受験（ExpertまたはBasic）

一般受験（ExpertまたはStandard）

※本ガイドスは、上記の内「認定校受験」について記載しています。一般受験につきましては、本検定の公式Webページにてご確認ください。

<https://www.acsp.jp/sd/>

➔ 受験料

Space Designer Expert：認定校受験 11,000円（税込）（一般受験 16,500円（税込））

Space Designer Standard：一般受験のみ 8,800円（税込）

Space Designer Basic：認定校受験のみ 4,400円（税込）

➔ 合格者に求められるスキル

▶ Space Designer Expert

一般受験、またはExpert認定校において、

- 新築住宅建築およびリノベーション、リフォーム後の空間をリアルに伝えるCGパースの作成ができる（VRへの対応）。
- インテリアコンセプト、イメージから適切なアイテムをセレクトできる。
- 提案をより効果的に伝える、創造力豊かでセンスの良い提案書が作成できる。

※求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル、提案書作成スキル

▶ Space Designer Standard（認定校は対象外）

一般受験において、

- ・ 図面や設計図書を正確に読み取り3次元で表現できる。
- ・ 提供された3次元データやテクスチャを正しく読み込み、配置できる。
- ・ 指定された光源やアングル、形式で正しくデータが作成できる。

※求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル

▶ Space Designer Basic

Basic認定校において、

- ・ 図面や設計図書を正確に読み取り3次元で表現できる。
- ・ 提供された3次元データやテクスチャを正しく読み込み、配置できる。
- ・ 指定された光源やアングル、形式で正しくデータが作成できる。
- ・ 提案をより効果的に伝える、創造力豊かでセンスの良い提案書が作成できる。

※求められるスキル：建築図面の知識、インテリアの知識、CGパース作成スキル、提案書作成スキル

➔ 認定校受験における試験の方法・評価の方法

問題提供	認定校のご担当者様へ試験センターよりメールにて送付 ※送付する問題は全 8 タイプございます。この中から 1 タイプをお選びいただき、課題の作成を行ってください。
配布データ	<ul style="list-style-type: none"> ■図面 <ul style="list-style-type: none"> ・ PDF ファイル（A3 サイズ）で配布 ・ 仕上表・平面図・平面詳細図・展開図・天井伏図・照明器具配置図・インテリアプラン ■家具・照明器具の 3 次元モデル <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間（3DS、DXF）ファイルで配布 ・ 3 次元モデルのテクスチャに使用するイメージデータ（JPEG 等） ・ 家具・照明器具の 3 次元モデルの確認用イメージファイル（JPEG 等） <p>※3次元モデルにテクスチャが反映されない場合、確認用イメージファイルを参考にテクスチャ用イメージデータを貼り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■テクスチャ用イメージファイル <ul style="list-style-type: none"> ・ 床・壁・天井などのテクスチャを作成するためのイメージデータ（JPEG 等）
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定校の指導者の下、学校、職場、自宅などで課題を作成いただきます。 ・ 配布された問題に対し、基礎課題と応用課題に取り組んでいただきます。 ・ 評価は認定校の講師が行い、採点用フォーム（Excel）と合格者分の課題を 1 ファイルにし、試験センターへファイル送信サービス（指定はございません）にて送付いただきます。 ・ 認定校より提出された評価結果ならびに課題データを試験センターにて確認し、合格判定が正しい場合は合格者分の認定証を送付します。合格判定に疑問がある場合は結果の差し戻しを行い、再度提出いただく場合がございます。
評価方法	認定校の講師がすべての受験者のパース画および提案書を「評価基準」により総合的にチェックし、その結果に基づき、最終判定します。評価は得点（100 点満点）をベースに評価します。
合格基準	基礎課題の総合評価で 70 点以上、応用課題の総合評価で 80 点以上

➔ 基礎課題の内容と評価基準

課題内容	<p>(1) 指定の部屋のパース画</p> <p>(2) 指定方向から見た指定の部屋のパース画</p> <p>例) リビングからダイニングを見たパース画</p> <p>※上記は過去の実施試験の課題内容です。課題内容は問題のタイプにより異なります。</p>
評価基準	<p>基礎課題では、図面等で指定された項目を正しく読み取り、パース画像を仕上げられているかを評価します。</p> <p>(1) 配布図面から正しく空間形状が読み取れているか。</p> <p>(2) エレメントが正しく作成、配置されているか。</p> <p>(3) 3Dデータの読み込みが適切に行われているか。</p> <p>(4) 内装仕上げ材が正しく表現されているか。</p> <p>(5) 造作家具、置き家具、照明などの素材が正しく表現されているか。</p> <p>(6) 光源およびアングルの設定が適切に行われているか。</p> <p>(7) 指定された形式で提出しているか。</p> <p>(8) 全体の色合いなどバランスが良いか。</p>

➔ 応用課題の内容と評価基準

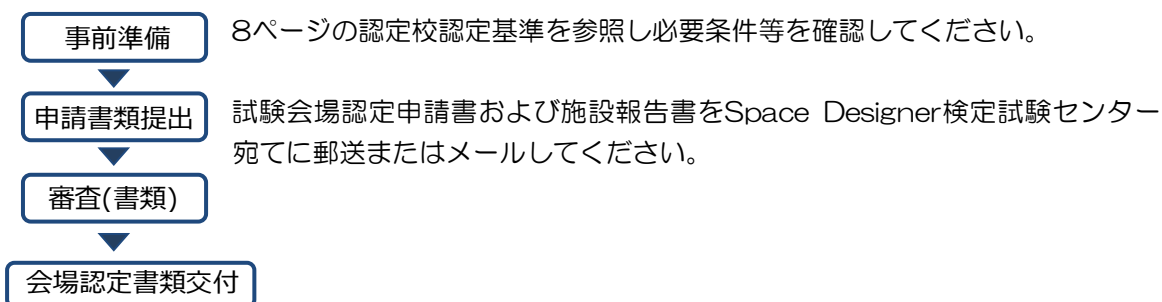
課題内容	<p>(1) 完成パース画</p> <p>(2) 提案書 (PDF ファイル A3 サイズ 1 枚に、空間コンセプトをまとめたもの)</p>
評価基準	<p>応用課題では、より現実空間に近いパース表現ができているか、インテリアイメージの演出も含め魅力的な空間を表現できているか、また説得力のある提案書が作成できているかを評価します。</p> <p>(1) 内装材や家具の質感が現実的な表現となっているか。</p> <p>(2) 照明器具の光の透過やテクスチャが現実的な表現となっているか。</p> <p>(3) 問題の指定条件にある家族構成・ライフスタイル、およびインテリアスタイルに合致したインテリアエレメントであるか。</p> <p>(4) インテリアスタイルの統一ができているか。</p> <p>(5) 表現するインテリアスタイルとして適切なカラー・フォントで構成されているか。</p> <p>(6) 提案書として必要なパース画像を補完するデザインコンセプト、イメージ画像、パース画像等が貼付され、かつその内容が指定のインテリアスタイルに合致したものであるか。</p> <p>(7) バランスのよい魅力的な提案書であるか。</p> <p>(8) 細部まで作りこまれ、課題のテーマに沿ってまとめられているか。</p>

➔ 2024年度スケジュール

	認定校受験	一般受験
試験日	随時実施	2025年1月27日(月)～2025年2月5日(水)
申込期間	随時申込	2024年11月27日(水)～2025年1月15日(水)
合否発表	認定証の発送をもって合格(認定)とする	2025年3月中旬

・一般受験の場合、基礎課題(全員提出)は1月30日まで、応用課題は2月5日までに提出いただきます。

➤ 新規申請の流れ



➤ 認定講師について

① Expert認定講師

Expert認定講師は、Space Designer 1級もしくはExpertに合格した方が対象です。Expert認定校に所属するExpert認定講師の指導を受け、合格評価された方のみがExpertの認定を受けることができます。

② Basic認定講師

Basic認定講師は、Space Designer 1級もしくはExpertの認定資格を持たない方が対象です。Basic認定校に所属するBasic認定講師の指導を受け、合格評価された方のみがBasicの認定を受けることができます。ただし、Basic認定講師がSpace Designer 1級もしくはExpertの認定資格を取得すればExpert認定講師になることができ、所属している教育機関、企業、団体は「Expert認定校」になることができます。

➤ 試験会場の変更申請

認定校の施設移転にともなう住所変更や認定講師の変更がある場合は、すみやかにSpace Designer検定試験センター宛てにメール (sd_op@acsp.jp) にてご連絡ください。

➤ 使用するソフトウェアについて

建築系・インテリア系3次元CAD/BIMなどCGパースが作成できるソフトと、パワーポイントなど提案書が作成できるソフト。JPEG画像とPDFが作成できるものであればソフトの指定はありません。組み合わせて使用いただいても結構です。

使用ソフトの例：

AutoCAD/ARCHITREND/ARCHICAD/GLOOBE/Revit/Shade3D/SketchUp/VectorWorks/3DSmax/3Dマイホームデザイナー/マイシーンデザイナー/Photoshop/PowerPoint/Illustratorなど(過去の試験において受験者の方がよく使われているソフトウェアです)。

➤ 認定校特典

- 年間を通じて、または夏休みの短期集中講座など、自由なカリキュラムの中で試験に取り組んでいただけます。
 - 一般受験よりも安価な受験料で資格取得ができます（Expertのみ対象）。
 - 認定校設置のソフトウェアを利用して課題の作成に取り組むことができます。
 - Space Designer 検定試験公式 Web ページに団体名を掲載いたします。
 - 宣伝活動における「Space Designer 検定試験認定校」などの呼称が使用できます。
 - 提供問題の教材への使用を許可します（内部での利用に限ります）。
- ※一般への有償での販売につきましては試験センターへ確認してください。

4

認定校での試験運営の流れ

→ 試験(講座)運営の流れ

↳ 試験課題への取り組み(問題タイプの選択)

認定校の登録が完了後、認定講師の方へ受験用の資料一式をファイル送信サービスを利用してお送りします。試験問題として複数のタイプ(2023年度は8タイプ)をご用意しておりますので、学生等に取り組みせたい問題タイプを自由にお選びください。

↳ 採点(評価)作業

課題の制作が終了しましたら、認定講師がすべての受験者のパース画および提案書を受験用資料にございます「評価基準」により総合的にチェックし、その結果に基づき、採点用フォーム(Excel)にて最終判定します。評価は得点(100点満点)をベースに評価します。採点用フォームと合格者分の課題を1ファイルにし、試験センターへファイル送信サービスにて送付いただきます。

↳ 試験センターでの合格者認定

認定校より提出された評価結果ならびに課題データを試験センターにて確認し、合格判定が正しい場合は合格者を認定いたします。合格判定に疑問がある場合は結果の差し戻しを行い、再度提出いただく場合がございます。

↳ 受験料(認定料)の支払い

認定校における受験料のお支払いは、試験センターでの認定後発送する請求書により、指定の銀行口座へ一括でお支払いいただきます。入金を確認できましたら、認定者全員分の認定証を送付いたします。

5

認定校認定基準

第1条 事前準備

新規に認定校への登録を希望する場合は、一般社団法人コンピュータ教育振興協会Space Designer検定試験センター(以下、「試験センター」という。)が提供する資料を参照し、試験制度の目的、運営方針等をよく理解の上、申請することとする。

第2条 申請書

- 1) 申請書類
申請書は、認定校の登録の際に必要な書類であり、所定の申請書を提出する。
- 2) 新規申請
新規申請は、「認定校登録申請書(新規)(様式第1号)」「認定校施設報告書(様式第2号)」および事業所案内を提出する。廃止の申請は試験センターへメールにて行う。
- 3) 変更申請
認定後、登録されている情報に変更がある場合には、必ず試験センターへメールにて届け出ることとする。

第3条 審査

試験会場に認定されるためには、下記の条件をすべて満たしていなければならない。

- 1) 試験(講座)運営に関して、適正な要員(講師)を出せること。
試験(講座)の実施に対して適正な設備を備えていること。
- 2) インテリア関連の教育においてふさわしいカリキュラムや環境を備えていること。

第4条 認定基準への誓約

新規登録を申請する会場および、既に認定を受けている認定校は、Space Designer検定試験の運営業務を円滑に行うことおよび、個人情報保護の観点から、本認定基準へ同意の上、誓約書を試験センターへ提出する。この誓約書は、原則登記上の本社または本店が提出する。同じく認定校として登録する支社・支店が提出する場合には、本社・本店が同等の責任を負うものとする。

第5条 認定

認定校の認定は、試験センターが行う。
認定に際し、本認定基準への誓約書の提出により認定されたものとする。

第6条 認定期間

期間の定めがないものとする。

第7条 認定校の種類・条件

- 1) 種類
 - ① Expert認定校
 - ② Basic認定校

2) 条件

- ① Expert認定校は、インテリア関連の教育に精通し、かつSpace Designer 1級もしくはExpertに合格した指導者(Expert認定講師)の下で課題に取り組む教育機関、企業、団体が対象。
- ② Basic認定校は、インテリア関連の教育に精通した指導者(Basic認定講師)の下で課題に取り組む教育機関、企業、団体が対象。

第8条 同意事項

- 1) 試験センターが示す試験運営方針に賛同できること。
- 2) 試験会場は、本基準に定める内容を遵守すること。
- 3) 試験の内容、実施スケジュール等を認定校関係者および受験者へ周知徹底し、積極運営に努めること。
- 4) 申し込み受付、課題等の発送、受験料の払い込み、事務連絡等を適正に行うこと。
- 5) 適正な試験運営方法を理解し、適正な運営に努めること。
- 6) 本試験において知り得た内容については、一切外部に漏洩および利用しないこと。

第9条 経費の負担

本試験実施に伴う会場費、その他関係諸経費は、認定校側で負担すること。

第10条 資料の提供

試験センターより必要に応じて試験に係わる資料の提出を求められた場合は、できる限り協力すること。

第11条 認定の取り消し

次の事項に該当する場合、認定期間中であっても、試験センターの判断で認定を取り消すことがある。

- 1) 本試験の概念および推進に支障をきたすような行為をした場合。
- 2) 試験運営に関して、不正行為等により公正を欠くと判断された場合。
- 3) 試験センターへの必要な報告義務を怠った場合。
- 4) 申請書の内容に事実と異なる記載をした場合。
- 5) 試験(講座)に伴う施設の用意ができず、試験(講座)の実施ができない場合。
- 6) 試験センターの決定事項に従えない場合。
- 7) 試験センターが取り消しに値する行為と判断した場合。

第12条 付記

本基準に記載されていない事項およびその他変更等を生じる事項については、試験センターと当該認定校が、その都度協議の上、試験センターが決定するものとする。

ACSP 一般社団法人 コンピュータ教育振興協会

Association for Computer Skills Promotion

〒107-0052 東京都港区赤坂2-8-14

丸玉第3ビル8階

TEL : 03-3560-8437

FAX : 03-3560-8436

URL : <https://www.acsp.jp/>